



▲稲わらを編む。「村には藁などのわら細工や竹細工がもっと上手な人がたくさんいますよ」と菅野さん。



▲完成間近。ピンクの縁取りと取っ手がこだわりを感じさせます。

菅野次男さんが「いちこ」を製作 昔ながらの道具を再現



▲お孫さんの泰幸ちゃんと次男さん。「いちこ」に入って泰幸くんもゴキゲン。

菅野次男さん（佐須）
のお宅で「いちこ」と呼ばれる昔懐かしい道具が作られました。

この「いちこ」は昔の農家で作られた、稲わらを編んでできたかこのような道具。これは、赤ちゃんを入れてベビーベッドとして使われたり、炊いたご飯やおもちを入れて保温や凍結防止などの目的で使われてきました。

今回作った「いちこ」は直径約70センチ、高さが約40センチほどの大きさで、製作期間は5日間ほど。

「本当は1日で作りたかったが、久しぶりに作ったので時間がかかってしまった」と菅野さん。

「昔は「米の木は粗末に出来ない」と言われたほど稲わらは丈夫で使いみちが多く、どの家でも稲わらを使って米俵や筵などの生活に必要なものを作ったもの。これは昔を思い出しながら、ひ孫

かわいさの気持ちだけで作りました。本来「いちこ」には蓋がつくので、今度はこれの蓋を作りたい」と菅野さんは今後について話していました。

ご寄付ありがとうございます

いいたて福祉会に音楽愛好会から金10、710円、菅野一二さん（比叡）から金3万円、高橋香さん（飯樋町）から痰吸引機1台▽社会福祉協議会に飯館ライオンズクラブ（高橋旦会長）金3万円を寄付していただきました。

2月17日～3月17日

納税相談

申告はお早めに

ひとのうごき

（平成15年1月1日現在）

人口	今月 (前月比)	昨年同月
男	3,450人 (+3人)	3,487人
女	3,489人 (-7人)	3,514人
計	6,939人 (-4人)	7,001人
世帯数	1,782戸 (+1戸)	1,771戸

（平成12年度国勢調査後の人口です）



広報 いいたて

は再生紙を使って作られています



新春村民のついでで5人の方が「もったいない！」をテーマに行った提言発表に感動しました。▽「もったいない」という考えは、日本の民族が大切にしていた考えだったと何かで聞きました。失われつつある「もったいない」。今思うと「もったいない」がある生活には、人として大切な「教え」があったような、そんな気がするこの頃です。